

# 公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



## 特集 公民館海援隊シンポジウム

- 4.5 **2** トピックス 本紙 第二回編集委員会開催 前期特集テーマ決定
- 3** 視点 「公民館改革」に期待 新潟市・笠原 孝子
- 3** ひろば 「学習の中で」 五泉市・寺田 ユリ
- 6** 実践記録シリーズ 「成人式に子どもたちのパフォーマンス」
- 7** サークル交流 「奏でる！」(上越市) / 「みんなで色々楽しむ日本語教室」(南魚沼市)
- 7** 素顔拝見 阿部 俊也さん(田上町) / 土屋 貴伸さん(佐渡市)
- 8** ネットワーク 県立生涯学習推進センター新規事業 / 社会全体で子どもをはぐくむ運動(県教育委員会)



刈羽村110歳おめでとうセレモニー

### 表紙解説

平成22年10月31日に開催された、刈羽村制110周年を祝う「刈羽村110歳おめでとうセレモニー」の様子です。

# 本紙 第二回編集委員会開催 前期特集テーマ決定

本紙の第2回編集委員会が3月10日(木)に新潟市中央公民館で開催され、平成23年度前期の「特集テーマ」等を審議しました。また、編集全体についての意見交換も行われました。



活発な意見交換

## 前期 各月特集予定

4月号

「海援隊シンポジウム」

新潟市北地区公民館

\* 佐藤 晴夫

5月号

「新任公民館職員ガイド」

上越市立公民館

\*

6月号

700号記念「特別寄稿」

元県公連会長

\* 今井 昭友

7月号

「関アロ新潟大会に向けて」

南魚沼市中央公民館

\*

8月号

「公民館運営の現状と課題」

前県公連事務局長

\* 鈴木 友夫

9月号

「県公民館大会を終えて」

佐渡市公民館

\* 平井 英昭

\* (氏名は敬称略) 執筆者が記載されていない号は調整後に決定)

○700号記念

6月号は、本紙が創刊700号になることから、本会の会長を8年間にわたって務められた今井昭友氏から「特別寄稿」をいただき2ページにわたって特集します。また、県当局や本会役員等から

のメッセージを掲載するとともに写真はカラー印刷にする予定です。

○新コーナー登場

「高齢者の元気な活動を紹介するコーナーをつくったらどうか」という意見があり、新コーナー「元気ですか」を5月号から掲載することになりました。各地区の編集委員が推薦して執筆者を決めていきます。地区が偏らないように中越↓上越↓下越↓新潟でローテーションします。

○その他は継続します。

「トピックス」「視点」「実践記録シリーズ」のコーナーは継続します。表紙写真「ひろば」「サークル紹介」「素顔拝見」の担当市町村は下記のとおりになっています。10月以降については8月に開催する第1回編集委員会で調整し決定します。

○編集についてご意見を

編集について、皆様の意見を事務局までお寄せください。

| 9月  | 8月   | 7月   | 6月   | 5月   | 4月   | 月    |
|-----|------|------|------|------|------|------|
| 胎内市 | 十日町市 | 新潟市  | 上越市  | 三条市  | 刈羽村  | 表紙   |
| 湯沢町 | 長岡市  | 新発田市 | 南魚沼市 | 刈羽村  | 五泉市  | ひろば  |
| 三条市 | 上越市  | 長岡市  | 新潟市  | 胎内市  | 南魚沼市 | サークル |
| 阿賀町 | 田上町  | 聖籠町  | 三条市  | 柏崎市  | 上越市  | サークル |
| 長岡市 | 新潟市  | 胎内市  | 魚沼市  | 南魚沼市 | 佐渡市  | 素顔   |
| 刈羽村 | 津南町  | 湯沢町  | 出雲崎町 | 阿賀町  | 田上町  | 素顔   |

東日本大震災の被災者の皆様に心からお見舞い申し上げます。

新潟県公民館連合会 会長 小山 孝夫

平成22年度新潟県公民館大会の資料集あります。

ご好評をいただいた「吉田博彦」氏の基調講演と「パネルディスカッション」の内容を復元した資料集の残部が事務局にあります。ご希望の方は下記まで。

新潟県公民館連合会 TEL・FAX 025-224-6073

# 視点

## 「公民館改革」に期待

新潟市社会教育委員 笠原 孝子



新潟市の公民館の取組に、熱い視線が寄せられています。というのも、社会教育法に基づいて全国に設置された公民館が、激しい時代の流れの中で、徐々にその数を減らしつつあるからです。政令市だけを例にとってみても、現在公民館が設置されているのは19市中新潟市を含む6市だけになっています。ですから広域の社会教育関連の研究会などに参加しますと「新潟の公民館はガンバッテいますね」「新潟は公民館を無くさないで下さい」と声をかけられることがたびたびです。また全国社会教育委員連合の会長からも「新潟がスゴイ。ぜひ全国に情報を発信して下さい」と言われています。そんな中、昨年9月黒埼市民会館で「公民館改革フォーラム」が開催されました。席上、和田中央公民館館長が「公民館は地域を元気にします！」と力強く宣言。地域のコミュニケーションづくりには総力をあげて取り組む姿勢をアピールしました。そして今年はいよいよその実行年です。人と人の、そして人と地域のつながりが希薄になってきている今、「ふれあい、まなびあい、ささえあい」をマニフェストに掲げる公民館の取組に、私もまた、熱い視線を送りたいと思っています。

# H O T N E W S 掲 示 板

## 小山会長、葦沢副会長が退任

平成23年度人事異動のため、小山孝夫会長（上越市公民館）と葦沢豊副会長（長岡市中央公民館）が退任することになりました。

後任は5月27日（金）開催の理事会、評議員会で決定します。新会長、副会長は6月号で紹介します。

### 小山孝夫会長退任の言葉



このたび、「会計課」に異動いたしました。県公連では副会長を2年、会長を1年務めさせていただきました。任期途中となってしまいました。県内の役員、事務局の皆様からご指導、ご協力をいただきましたことに感謝申し上げます。県公連、県内公民館の皆様との益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

### 葦沢豊副会長退任の言葉



このたび、「市民協働部」に異動いたしました。平成25年に中越地区で行われる関プロ公民館大会を前に異動になり複雑な思いです。新しい公民館の運営が模索される中、県内各地区の公民館のご健闘を心から祈念申し上げます。

# ひろば 学習の中心

五泉市公民館運営審議会委員 寺田 ユリ

私が運営審議会委員である理由は、五泉市の「女性学級」の学級長だからと申しています。この学級は五泉市の公民館の後援を受けながら自主学習を目指し、毎月一回一年間の学習を行っている団体です。今年度は六十五名です。

四月迄に学級運営委員会です。委員は十三名、学級生を六班に分け、代表を二人ずつ選びます。公報で募集しますが、私の様に何年か落第して学級生になる人もいます。



講義、実習、移動学習、手芸とバラエティに富んでいるため補習になったり委員が大変苦労する時もあります。しかし皆さん頑張っています。

年間の学習の記録を三月に小冊子にまとめ、「春陽」と名付けて毎年発行しています。学級生も随想や俳句に投稿しています。すべての編集も委員でやり、その時は赤ペン辞書片手で助け合って作業します。今年も間もなく出来上がります。長岡に佛像鑑賞にいったり、手品の学習で教室中が賑やかになったりしました。

# を実現する公民館 シンポジウム

の学びの機能性を再確認しながら、今日の公民館ミッションとその具体的な手立てを明らかにする場としました。

シンポジストは、鈴木寛さん(写真)、神代浩さん(写真)、そして、篠田昭新潟市長。コーディネーターは、吉田博彦さん(写真)でした。



シンポジスト  
神代 浩さん  
国立教育政策研究所  
教育課程研究センター長  
生徒指導研究センター長



シンポジスト  
篠田 昭 新潟市長



コーディネーター  
吉田 博彦さん  
NPO 教育支援協会  
代表理事

ここでシンポジウムの概要を紹介します。

吉田：神代さんが公民館海援隊を結成した理由は。

神代：戦後当初の公民館の基本に戻り、現代課題に応じた学びを地域とともに作り、公民館活動を元気にするため。

吉田：地域主権とはなにを指しているのか。

鈴木：地域の実情にあった生き方の実現といえる。

吉田：今は地域主権どころか市民主権になっていない。

市長：市民が主役の地域づくりとして、「市民主権都市」を掲げた。今日のまちづくりには地域力、市民力が欠かせない。これを生かし活用していくことが必要。今、コミュニティ協議会に防犯・防災、地域教育、地域福祉の3点から地域づくりをお願いしているところだ。こ

うした状況にもかかわらず、例えば、公民館は地域課題を解決するような人材育成を図る講座などを実施しているのだろうか、とてもそうとは思えない。そこで、新潟市が迎える超高齢社会の現実を示し、そこから発生する地域課題を解決する人材教育を図るよう、公民館と話し合ってきた。また、そうなって欲しい。

吉田：それなら予算を拡大したらいいのでは。

市長：潤沢とはいかない。公民館がなにをするか、優先順位を決めて欲しい。ただし、NPOやコミュニティ協議会などの活動費をゴミの処分料を原資とて支援している。

吉田：篠田市長のお話の印象として、リーダーシップが強いと市民はお任せになる危険性がでてくる。自発性を尊重し、課題の設定から地域に任せ、その論議をするところが公民館では。

神代：篠田市長の公民館に対する目は非常にきびしいので不安になった。公民館は直接地域課題を解決するわけではない。しかし、解決のための糸口、繋がり、きっかけ作りをする場である。これが公民館の強みだ。



シンポジウムのワンシーン

市長：ピラミッド型ではよくない。さまざまなことが受け止められるメッシュ構造が必要だ。それが例えばまちづくりセンターだ。

鈴木：地域課題の解決は、課題を熟議し診断し対処することが必要。行政は市民の声をよく聴き、自発的な協働に繋がるよう支援すること。公民館は規制が少なく熟議が展開できる可能性が大きい。

吉田：時間がきてしまった。無縁社会という時代、それぞれが、なにをすべきか見えた時代といえよう。そのために自らが行動を起こしたい。

## おわりに

シンポジウムは、非常に幅広い論議となりました。しかし、紙面の都合上、公民館に関することに止め、しかも要約しました。また、シンポジウムの開催にあたり、神代浩さん、吉田博彦さんから多大なご指導とご協力をいただきました。

## 特集

社会教育  
鈴木寛

市民主権都市を実現する公民館

# 市民主権都市 公民館海援隊シン

## 公民館海援隊シンポジウム

新潟市北地区公民館長 佐藤 晴夫

### はじめに

2月19日(土)、北区文化会館を会場に、公民館改革の一環として「公民館海援隊シンポジウム」を開催しました。約400人の参加者がありました。昨年の9月4日、新潟市公民館では、地域主体のまちづくりを目指し、公民館改革宣言を行いました。トータルアピールは次のとおりです。

- ・公民館は地域に出かけ、地域と一緒に取り組み、地域を元気にします。

一方、公民館海援隊は、昨年の5月、文部科学省が全国の公民館に呼びかけ、それに応じて、20館の公民館が参加しました。結成趣旨は、家庭教育をはじめとして、環境問題支援、就業ビジネス支援など地域住民のさまざまな課題解決を支援するとともに、その取り組みについての情報を共有し、全国の公民館活動の活性化を図るためです。新潟県では唯一当北地区公民館が参加しています。

そして今、新潟市では「市民主権都市」を標榜し、新たな新潟市づくりを目指しているところです。

以上、新潟市公民館、新潟市、文部科学省とも、「地域主体」の地域づくりを目指しているといえます。そこで改めて、新潟市が目指す地域づくりステージ・「市民主権都市」に公民館を載せて、その位置と役割を明確にしながら、地域課題解決のための具体的な手立てを見出すため、「公民館海援隊シンポジウム」を開催しました。

### 1. 鈴木文部科学副大臣が基調講演

このたびのシンポジウムは、2部構成としまし

た。1部は公民館の新潟市のまちづくりの指針の一つである『市民主権都市』の実現に、なぜ公民館が重要な役割を担うのか。これを明確にするため、鈴木寛文部科学副大臣から「地域主権と社会教育」と題し、基調講演をいただきました。鈴木副大臣の講演の要旨をここに掲げてみましょう。



鈴木 寛さん  
(文部科学副大臣)

「私の公民館の定義は庶民を公民に変えること。公民とは自分たちの生きている社会を自分たちでつくる市民をいう。もはや官僚や自治体職員が国家デザインや地域デザインをすべき時代

ではない。21世紀は教育、福祉、地域づくりなど、地域を一番よく知っている地域の皆さんが地域課題を論議し、その解決方法を考え、それぞれの良さを生かし、公人としての役割を果たしていく時代だ。それが「新しい公共」のあり方でもある。つまり、新しい民主主義をつくり出すために、自己利益だけに終始しない公民が必要な時代といえよう。そのために、公民館の基本理念を生かし、公民館を公民育成の中心に据えたい。その中で最も大切なことは参加者の納得感である。「熟議」はそのためにある。公民館を通じて熟議を広め、公民の輪が全国に広がり、そこから新しい民主主義の社会をつくりだしていきたい」。

### 2. シンポジウムの要旨

第2部のシンポジウムは、基調講演を受けて、新潟市のまちづくりの指針の一つである「市民主権都市」を実現するために、行政全体の中で、公民館を改めて位置づけ直し、公民館の地域密着型

# 実践記録

## 157

### シリーズ

## ～成人式に子どもたちのパフォーマンス～

新発田市中央公民館 事業係 主任 阿部 俊一

### 1. はじめに

当市では、毎年3月の第2週もしくは、第3週の日曜日に開催しています。

式は、新発田市、新発田市教育委員会、新発田市成人式実行委員会の三者で主催し、又成人式企画運営委員会（アトラクションスタッフ）、中央公民館が主管となって行っています。

成人式実行委員会は、式の開催目的である「21世紀の日本、新発田を担う新成人の門出を祝うために、厳粛で意義深く、市全体、市民全体でお祝いするあたたかみのある成人式」を実行してもらうために、市の主な関係団体から実行委員を推薦いただき、17名で構成されています。具体的には、開催内容について前年度の反省を踏まえて審議いただき、そして、当日の式の運営にも当たってもらっています。

また、式典では、いくつかの催しものを入れ、新成人に感動してもらえるように努めています。

### 2. 式典の内容

#### 第1部

- オープニングセレモニー
  - ・ドリル演奏（新発田中央高等学校吹奏楽部）
  - ・新成人代表あいさつ（成人式企画運営委員長）
- 式典
  - ・開式の言葉（小中学生各1名）
  - ・国歌斉唱（全員合唱）
  - ・式辞、祝辞
  - ・来賓紹介
  - ・新成人代表の言葉（成人式企画運営委員）
  - ・「新発田市紹介ビデオ」上映
  - ・合唱「花嫁人形」（市合唱連盟・はとの会手話教室）
  - ・ダンスステージ（しばたパフォーミングキッズ）



ダンスを披露する子どもたち(式典)(しばたパフォーミングキッズ)

#### 第2部

- アトラクション
  - ・ステージドリル(新発田マーチングバンド VIVO)
  - ・「中学校の思い出ビデオ」上映
  - ・お楽しみ抽選会

### 3. 成人式企画運営委員会(アトラクションスタッフ)とは

市では、式典後の第2部となるアトラクションを企画運営する成人式アトラクションとして、市内10中学校及び陸上自衛隊新発田駐屯地からスタッフを

推薦してもらっています。計25名の新成人で構成されています。

スタッフの活動内容は、第2部アトラクションで上映される「中学校の思い出ビデオ」の制作とお楽しみ抽選会の企画・運営を行います。

11月上旬に第1回スタッフ会議を行い、週1回のペースで新発田市生涯学習センターに集まり制作に取り組んでいます。

「思い出ビデオ」の内容は、中学校当時の先生のインタビューや当時の部活、授業、運動会の様子の写真を約3分半でまとめ上映します。



11月から毎週活動したアトラクションスタッフ

### 4. 評価と課題

毎年成人式は、晴れやかさよりも荒れた様子がマスコミのネタになりがちです。担当としてはあたたかも何も無かったように、目立つことなく静かに過ぎ去ってほしいというのが本音です。

一方、一生に一度の成人式、華々しく晴れやかに目立ちたいという新成人の気持ちも分かります。そこで何とかいい着地点を見出したのが今のやり方でしょうか。おかげさまで、毎年参加率は80%を超えていますし、アンケートでの評判も悪くはありません。

これからも式典は、祝辞などの話を必要最小限にし、それよりも新成人の後ろを続いていく子どもたちにパフォーマンスで式に花を添えてもらうというスタンスで取り組んでいけたらと思っています。

今のところ課題としては、午前と午後の二回を一回でやることです。以前は新成人が1,000人を超え、会場に収容できなかったため、市内10中学校を5校ずつの2回に分けて開催していたものですが、近年では900人弱ですので1回でも可能なことは可能なのです。しかし、騒々しさも2倍になるわけでこれまでどおりの運営ができるのかという大きな心配があるのです。担当としては、もう少し対象者が減ってくるまで先送りしたほうが無難と思っています。

今後も市全体で新成人を祝福するような式典、そして新成人が「参加してよかった。いい成人式だった」と思ってもらえるような成人式を目指し進めていきたいと思っています。

◎平成22年度新発田市成人式は、平成23年3月13日(日)に予定していましたが、この度の大震災のため、平成23年5月15日(日)に延期となりました。

奏する！

二胡勉強会



二胡は東洋のバイオリンとも言われる弦楽器です。音色は人の声にも似て表情豊かです。大河ドラマ「江」のBGMでもおなじみです。理想の音色に近づこうと、会員同士が情報交換しながら練習に励んでいます。又、月に一回のプロによる講習会は皆とても楽しみにしています。一流の音色に耳を傾けたり、メモをとったり、有意義な時間を過ごしています。上越においてはさきがけの団体です。暗中模索の中とりあえず年一回、

おさらい会をすることを目標にがんばってきました。発足以来拠点として利用させていただいている謙信交流館にて開催します。3年目のステージを間近に控え、メンバーは熱気に溢れています。

上越市 二胡勉強会  
代表 岩片 一美 記



みんなで色々楽しむ

日本語教室

南魚沼市・日本語交流ひろば

日本語交流ひろばは、外国人在住者へ日本語を教える教室で、平成18年6月に始まりました。今は中央公民館と大和公民館の2か所で教室を開催し、教室の他に料理教室等の実施、2月には魚沼市の日

本語教室と一緒に「春節祭」を開催しました。

中央公民館では、中国、フィリピンや英国出身などの受講生へ日本語を教え、時には受験勉強なども教えています。

発足時のような大人教の受講生はいませんが、日本語教室の存在が認知されて新規受講生の申し込みがが続いています。

講師は日本語の教え方講座受講や講習会参加など行い、受講者の要望に応えられるよう熱心に取り組んでいます。



日本語交流ひろば六日町教室  
責任者 櫻井 徳治 記

わが両津地区公民館のホープ土屋主事を紹介します。

新採用から市民課勤務で培ってきた窓口対応は素晴らしく、物腰の柔らかさと、親切な対応が公民館利用者から絶賛されています。

職場では、よく気が付き、こまめに体を動かす笑顔の素敵なお兄さん。家に帰れば3児の父親、地域に入れば新穂地区の少年野球団の厳しく、やさしいコーチ。

佐渡市 両津地区公民館  
主事 土屋 貴伸さん



そんな忙しい土屋さんに両津のお母さんたちが今日も笑顔で話しかけています。

社会教育担当1年生、迷わずチャレンジ！！地域活性化のためにさらなる活躍を期待しています。

(佐渡市教育委員会社会教育課両津地区教育係  
近藤三恵子 記)

阿部俊也主事を紹介します。平成22年4月に採用され、最初の配属先が田上町公民館となった阿部さん。社会人経験があり、長年野球をやってきたので、体育会系のノリでバリバリ仕事をこなし、今では公民館のエースで4番といったところでしょうか。

現在は体育関係や図書室の仕事を担当していますが、これからは各種教室や講座などにも関わってもらおうと思っ

田上町公民館  
主事 阿部 俊也さん



ています。

すでに田上町公民館の中心的存在になっている阿部さん、仕事はもう安心して任せられるので、次は家庭です。奥さんを大事にし、近々生まれてくるベビーのためにも、立派な父親になってください。

(田上町公民館生涯学習係長 大平哲也 記)

恵贈資料紹介

# Net work

ネットワーク

## 県立生涯学習推進センター新規事業

- 1 「社会教育・公民館職員スキルアップ研修」  
趣旨：生涯学習・社会教育関係職員等のスキルアップを図る。  
対象：市町村生涯学習・社会教育関係職員・公民館職員  
講師：篠田新潟大学教授  
期日：平成23年6月16日（木）  
会場：県立生涯学習推進センター
- 2 「リーダー等研修会」  
趣旨：課長・係長級のリーダー及び社会教育関係機関の社会教育主事等の専門性を高める。  
対象：市町村生涯学習・社会教育関係課長・係長級職員・公民館及び県・市町村の社会教育主事発令者  
講師：丸山結香氏  
期日：<下越・新潟>平成23年11月10日（木）  
会場：県立生涯学習推進センター  
<上越・中越>平成23年11月21日（月）  
長岡地域振興局（予定）

## 社会全体で子どもをはぐくむ運動(県教育委員会)

- 「地域のみなさん、一緒に活動しませんか！」
- 1 学校活動の支援
  - 2 親の学びや子育てを支える
  - 3 放課後活動の支援
- <子どもたちのために あなたのちからを！>協力者募集中  
詳しくはホームページ「社会全体で子どもをはぐくむ運動」  
検索で

### 「はぐくみネットワーク第6集」

平成22年度新潟県「社会全体で子どもをはぐくむ運動」の事例集「はぐくみネットワーク」第6集が発刊されました。



新潟県教育委員会編

これまでの事例集と同様、県内の各地域で活躍しているグループや市町村の事業・活動の63事例を紹介しています。また、子どもたちの育成に関わる思いや願い等について、新潟県地域家庭教育推進協議会委員のメッセージも掲載されています。

お問い合わせ連絡先

・新潟県教育庁生涯学習推進課  
電話 025-2285-5511 (代表)

### 「社会教育 私の挑戦」

柏崎市在住の品田尚道氏が編集した「社会教育 私の挑戦」が発刊されました。品田氏は柏崎市中央公民館に勤務し、その間、「独楽のふる里づくり」「北条音楽劇 長島の久遠い流れ」を始めとして「公民館活動と地域づくり」に「貫して取り組まれました。冊子は数多い取組の様子を記録集として156ページに編集してあります。

品田尚道編

装丁が手作りの和装じになっていて温かみのある仕上がりになっています。

お問い合わせ連絡先

・新潟県公民館連合会事務局  
電話 025-224-6073

## 美しい国土と豊かな環境を未来の世代に

過疎地域には、安全・安心な食料や水の供給、エネルギーの提供、国土の保全、災害の防止、地球温暖化の防止等のほか、都会の人々のやすらぎや教育の場として、国民全体の安全・安心な生活を支える極めて重要な公益的機能があります。

過疎問題の解決を国民全体の課題と捉え、継続した対策が必要であると考えています。

新潟県過疎地域自立促進協議会  
会長(出雲崎町長) 小林 則 幸

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内  
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

- ◆新潟県内の過疎市町村(14市町村)  
長岡市、上越市、柏崎市、十日町市、村上市、糸魚川市、妙高市、佐渡市、魚沼市、阿賀町、出雲崎町、津南町、関川村、粟島浦村

### あ と が き

事務局長のつがやき  
大震災被災者の皆様から  
お見舞い申し上げます。

新潟市避難所の一つ「新潟市体育館」は、当事務所から500メートルのところにあります。避難されている方を支える市職

員やボランティア等の方々が無事に動いている様子が分かります。あるお笑いタレントが「避難所にお笑いボランティアに行く人がいるが、避難者に心の余裕や大きな希望がなければ笑ってなどいられないはずだ」と言っていました。なるほどなあと思いました。(田原)